

# 慢性期看護学実習

担 当：成人保健・看護学教室  
責任教員：教授 山本則子

実習施設：東京大学医学部附属病院

実習期間：2023年2月20日（月）～3月3日（金）

（病棟、地域医療連携センター、外来実習を含む）

※土日祝日は除く

実習時間：午前8時～午後4時

## 1. 目的

- 1) 疾患を有する成人患者と接する上で必要な医療専門職としての基本的姿勢を養う。
- 2) 既習の知識、技術の理解を深め、成人看護実践の基礎的能力を養う。

## 2. 目標

- 1) 成人患者とコミュニケーションをとり、適切な情報を得ることができる。
- 2) 内科的治療を受ける成人患者1人を担当し、患者の疾患や治療、身体・心理社会的状態についてアセスメントを行い、看護計画を立案する。
- 3) 立案した看護計画のなかで実施可能なものを選択し、実施・評価する。
- 4) 療養環境における安全管理対策の実際を知る。
- 5) 外来実習、地域医療連携センターの見学を通して、病棟外での患者と看護師の関りを知る。

## 3. 展開

- 1) 病棟あるいは外来、地域医療連携部での看護の流れを理解する。
- 2) 受け持ち患者へ看護過程を展開するうえで必要な情報を収集する。
- 3) 収集した情報をアセスメントし、看護問題を明らかにする。
- 4) 優先順位の高い看護問題に対して看護計画を立案し実施、評価する。
- 5) 教員、実習指導者あるいは担当看護師の指導の下で日常生活援助技術を実施する。
- 6) 治療を受ける患者に必要な技術や観察について、見学又は教員、実習指導者・担当看護師の指導の下に実施する。

- \* 情報収集や看護過程の展開は、原則として1人の受け持ち患者を設定し、その患者を対象として行う。
- \* 1日の行動計画用紙に行動計画を記入し、毎日、実習開始時に教員、実習指導者の指導を受ける。
- \* 行動計画用紙以外の記録物（関連図、看護計画等）は主として教員の指導を受ける。
- \* 患者に看護行為を実施する場合には必ず、教員、実習指導者・担当看護師の監督の下に行う。
- \* 実習最終日の午後に全体発表会を行う。

#### 4. 提出物

##### 1) レポートおよび実習全記録

(1) レポート課題 (課題は実習中に指定する)

(2) 実習全記録 (作成したものはすべて提出、提出形式は実習中に指定する)

##### 2) 期限 2023年3月6日(月) 17時

##### 3) 提出先 成人保健・看護学教室(医学部5号館206号室)

#### 5. 単位認定

1) 出席 (全出席を原則とする。やむを得ない事情のある場合の欠席に限り、考慮する)

2) 実習内容

3) 提出物

#### 6. 注意

1) 補講は行わない。

2) 病気その他、やむをえない事情で欠席または遅刻をする場合には、指導教員にできるだけ速やかに連絡をする。